

平成 28 年度長野県計画に関する  
事後評価  
(令和 2 年度実施分)

令和 3 年 11 月  
長野県

### 3. 事業の実施状況

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.15】 生活習慣病医療連携体制基盤整備事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	県全域	
事業の実施主体	長野県	
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>今後ますます医療資源が限られてくる中、地域の医療機関が機能分担と連携を図り、急性期から回復期を経て維持期に至るまで、地域全体で切れ目なく必要な医療を提供する体制の整備が求められている。特に慢性期疾患である生活習慣病患者への対応として、かかりつけ医を中心にした多職種による在宅医療提供体制の構築が急務となっている。</p> <p>アウトカム指標: 地域連携クリティカルパス導入医療機関数(脳血管疾患) 53か所(H29年時点) → 53か所以上(H35年目標)</p>	
事業の内容(当初計画)	看護師や医療ソーシャルワーカー等、医療機関関係者を対象にした研修会を実施し、地域連携クリティカルパスに関する先進事例や課題についての情報共有・解決を図り、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。	
アウトプット指標(当初の目標値)	研修会参加者数 97人	
アウトプット指標(達成値)	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.39】 歯科医療関係者人材育成支援事業	【総事業費】 1,681 千円
事業の対象となる区域	県全域	
事業の実施主体	長野県歯科医師会、長野県歯科衛生士会、歯科衛生士養成校協議会	
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>全国と同様に、長野県でも歯科衛生士不足は深刻化しており、歯科医師会の調査では、50%以上の歯科医療機関で歯科衛生士が不足していると回答している。また、歯科衛生士会の調査では、未就業者のうち47%が歯科衛生士として復職希望しており、マッチングの機会や復職のための支援体制を整備することが求められている。</p> <p>アウトカム指標：就業歯科衛生士数(診療所、市町村、病院等) 2,576人(H30時点)→2,600人以上(R5目標)</p>	
事業の内容(当初計画)	<p>① 歯科衛生士の人材育成として高校生に対する職業紹介・相談会・研修会等を開催し、歯科衛生士という職業を広報する。</p> <p>② 未就業歯科衛生士に対する実技指導を中心とした研修会等を実施し、復職支援体制を整備する。</p>	
アウトプット指標(当初の目標値)	<p>高等学校等への説明会実施数：5校 復職支援研修会参加者数：30名</p>	
アウトプット指標(達成値)	<p>高等学校等への説明会実施数：16校 復職支援研修会参加者数：137名</p>	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：就業歯科衛生士数(診療所、市町村、病院等)2,576人以上(H30時点)→2,720人以上(R2)</p> <p><b>(1) 事業の有効性</b> 高校生向けの歯科衛生士の職業紹介を通じて、歯科衛生士養成校への進学率の向上を図るとともに、復職支援研修会を開催することで有資格未就業の歯科衛生士の再雇用の促進を図り、歯科衛生士の人材確保を進めることができた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 長野県歯科医師会、長野県歯科衛生士会が実施することで、全県的な取組みを行うことができた。</p>	
その他		